

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	3 4 3	受 理 年 月 日	令 和 6 年 5 月 30 日
件 名	東山泉小中学校の全学年での学校調理方式による給食の実施		
要 旨	<p>京都市の小中一貫校は東山泉小中学校を除き、全て学校調理の給食が実施されている。なぜ同じ小中一貫校である東山泉小中学校だけ実施されていないのか納得いかない。京都市は理由の一つに、東山泉小中学校が1年生から5年生までは西学舎、6年生から9年生までは東学舎と分かれていて、施設一体型でないことを挙げている。</p> <p>現在、東山泉小中学校東学舎では、6年生のみ西学舎で調理された給食が運ばれている。今回、京都市が計画予定の大型給食センターの給食が同じ学舎にいる7年生から9年生（中学生）に実施されようとしているが、西学舎の給食調理室を改修して全学年の給食を作って運ぶか、若しくは、元月輪小学校の給食調理室を改修して、7年生から9年生の給食を作って運ぶ方が、工事期間も短くて早く実施できるのではないか。元月輪小学校は現在、地域の避難場所として防災訓練のときは炊き出しも行われていると聞く。常時給食調理業務を行っていけば、更に災害非常時に稼働しやすく、地域の安全につながるのではないか。2万6,000食を作る大型給食センターでは、食中毒が起きたときに給食がストップしてしまうリスクが大きく、1日に何十台も配送トラックが市内の中学校を往復する状況を考えても、課題が多いと思う。2028年度の実施予定としているが、日本で最大の大型給食センターであるため、順調に進むか疑問である。東山泉小中学校の全学年での学校調理の給食は、私たちが長年署名を集め、運動してきた切実な願いである。他の小中一貫校と同様に早急に実現していただきたい。</p> <p>ついては、東山泉小中学校の全学年での学校調理方式の給食を早急の実施することを願う。</p> <p>なお、本請願について署名780筆を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	赤阪 仁、やまね智史、えもとかよこ、井崎 敦子		
付 託 委 員 会	文教はぐくみ委員会		